

平成 23 年 度

〔平成 23 年 4 月 1 日から
平成 24 年 3 月 31 日まで〕

事 業 報 告

決 算 報 告

公益財団法人 メトロ文化財団

平成23年度事業報告

（平成23年4月 1日から
平成24年3月31日まで）

平成23年4月1日から平成24年3月31日までの当財団の平成23年度事業概況について、以下のとおりご報告申し上げます。

事業概況

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業、交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

平成23年度は、以下のとおり各事業を実施いたしました。

なお、当財団は、公益法人制度改革に伴い、平成23年10月31日内閣府に公益財団法人への移行認定申請を行いました。その後内閣府との折衝を終え、平成24年3月28日内閣府から公益財団法人として認定書の交付を受け、同年4月1日に移行登記を行いました。

移行登記に伴い、当財団の名称を「公益財団法人メトロ文化財団」に改めました。

I 事業

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、お客様、特に小・中学生など若い世代の方々に対し、地下鉄に関する知識の普及と理解を深めていただくため、地下鉄博物館の管理・運営を行いました。

本年度は下記の特別展やイベント等を開催したほか、入館されたお客様に喜んでいただけるよう売店商品の新規開発や施設の改良、展示物の更新などを行いました。また、平成23年7月には博物館が開館25周年目を迎えたことから、特別感謝デーとして2日間に限り、子供入館料を無料とし、特別イベントを実施いたしました。

以上の結果、本年度の入館者数については、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により上半期は前年度比2%減となりましたが、年度累計では149千人（対前年度比6.5%増）となりました。また、入館料収入については、2,342万円（対前年度比6.9%増）、売店等の収入については、新商品の販売やプリントクラブの新型機導入等により4,056万円（対前年度比17.4%増）となりました。

(1) 特別展の開催

ア「地下鉄を支える人たち」の開催（平成23年6月21日～8月7日）

地下鉄を安全、正確、且つ迅速に走らせるためには、駅員、車掌、運転士などの存在は不可欠ですが、その他にも普段あまり目にすることが少ない、列車の運行管理を行う総合指令所の係員や、車両を整備する係員、線路やトンネルを守る係員、電気関係設備を守る係員など多種多様な人たちが昼夜を問わず業務に励み、地下鉄の運行を支えています。

この特別展では、これら縁の下の力持ちとして鉄道の安定運行の要職に携わる人たちに密着し、どのような人たちがどのような仕事を行っているのかについて、仕事に必要な携帯品や工具類の展示のほか、パネルやビデオ映像で紹介し、地下鉄を支える多くの人たちの役割を知っていただくことにより、地下鉄に対する理解と関心を深めていただけるよう開催いたしました。

イ「地下鉄ふしぎ発見展」の開催（平成23年11月22日～平成24年1月15日）

日本に最初の地下鉄が昭和2年に開業してから平成23年で84年が経ちますが、地下鉄の建設、開業の歴史を重ねる中で、色々な出来事や数々のエピソードが生まれました。今では都市生活の中で無くてはならない存在となった身近な地下鉄ですが、どうして地上ではなく地下を走る鉄道が必要とされたのか、どのような方法で建設されたのかなどについて、博物館に入館された多くのお客様からご質問をいただいております。

この特別展では、普段から疑問に感じたり、不思議に思ったりしている事柄などについて、入館者からのアンケートや当財団が開催した鉄道教室への参加者（小学1年生～6年生）からの質問を参考に、「地下鉄誕生のふしぎ」「地下鉄工事のふしぎ」「電車のふしぎ」「乗務員・駅員のふしぎ」「運輸のふしぎ」「設備のふしぎ」として、パネルや実物展示などによって、「ふしぎ」を解き明かし、地下鉄をさらに身近なものにしていただけるよう開催いたしました。

ウ「丸ノ内線全通50周年記念展」の開催（平成24年3月13日～4月22日）

地下鉄丸ノ内線は、昭和29年1月に池袋～御茶ノ水間が開業し、その後順次部分開業を重ね、昭和37年3月に全線が開業しました。全線が開業してから平成24年3月で50周年を迎えました。

この特別展では、丸ノ内線全通50周年を記念して開業の歴史、時代背景などを中心に丸ノ内線を紹介しました。丸ノ内線の建設は、戦後復興の象徴的事業であり、山手線のターミナルから内側の都心方向へのアクセスとして重要な役割を果たしました。また、導入した300形車両は、斬新なデザインと当時の最高水準の技術を全面的に取り入れました。展示に際しては二部構成とし、一部では丸ノ内線建設の歴史を、二部では営業開始当時の首都圏の様子と現在との比較をパネル、映像等で紹介するとともに、博物館に常時展示している300形車両（301号車）を活用した写真展などを開催いたしました。

(2) イベントの実施

入館されたお子様やご家族に楽しんでいただけるよう、入館者の多い春休み、ゴールデンウィーク、夏休み、鉄道の日、冬休みの各期間において「映画の上映」「館内探検クイズ」「おもしろ館内キッズツアー」「ミニセミナー」「電車と遊ぼう」「電車と競争！パズルに挑戦」「新春クイズ大会」などのイベントを実施いたしました。

なお、平成23年7月には博物館が開館25周年目を迎えたことから、特別感謝デーとして2日間に限り、子供入館料を無料とし、「おもしろ館内キッズツアー」を実施いたしました。

(3) 教育実習活動の実施

学芸員資格取得のための博物館実習のほか、近郊の中学校からの要請による職場体験学習(チャレンジ・ザ・ドリーム)の受入れ等教育実習活動を行いました。

(4) 地下鉄関連資料の収集、保存

地下鉄に関する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保存するとともに、各種資料のデータベース化を行いました。さらに、これまでデータベース化した貴重な資料を活用するため、アーカイブサイトとして当財団のホームページに公開する準備を行いました。

(5) 展示物の更新及び施設の改良等

東日本大震災の影響による節電対策として、館内照明の一部消灯や自動改札機の使用台数の削減(土日祝日に限り、有人改札を使用)、空調温度の変更などを行うとともに、照明器具についても、ハロゲンランプや白熱灯からLEDなどの省エネタイプの機器類に交換し、節電効果の向上を図りました。また、メトロパノラマの見学台の設置や開館以来25年が経過し、更新時期にきていた受変電設備等の改修工事を行いました。

(6) オリジナル商品の開発と販売

入館されたお客様に喜んでいただけるよう、ミュージアムショップでの新規オリジナル商品として、銀座線新型1000系車両をデザインしたハンドタオル、ボールペン、ネクタイピンや地下鉄車両のプリントTシャツなどを開発し、販売いたしました。

本年度も地下鉄博物館の管理・運営に当たっては、多くのお客様にご来館いただけるよう、博物館のホームページ、駅構内掲出ポスター、携帯サイトなど、各種媒体を通じて特別展やイベントの開催等を紹介いたしました。また、テレビ局、新聞社、雑誌社等のメディアの取材、インタビューにも積極的に対応し、博物館のPR、お客様の誘致活動を推進いたしました。

2 交通文化事業

音楽会、絵画展、写真教室、歴史教室等の催しを通じて、多くの方々に、文化的で豊かな日々を

提供するため、次の事業を実施しました。

(1) メトロコンサートを開催

青少年への音楽文化の普及を図る文化活動の一環として、メトロコンサートを地下鉄博物館ホールにおいて、午前と午後の2回、次のとおり開催しました。なお、多数のお客様に楽しんでいただくため、当財団のホームページや駅構内掲出ポスター等により開催情報の提供を行いました。

・第49回 メトロコンサート

「音楽の世界旅行」(平成23年7月16日開催)

出演：アンサンブル・グルッポ・ムジチーニ

(ピアノ、ソプラノ、テノール、バスバリトン) 来場者253名

・第50回 メトロコンサート

「クリスマスファミリーコンサート」(平成23年12月17日開催)

出演：ララ・カンツォーネ

(ピアノ、ヴァイオリン、ソプラノ、カウンターテナー) 来場者344名

・第51回 メトロコンサート

「おんがくにふれあおう！みんなのコンサート」(平成24年2月18日開催)

出演：はりゆ

(ギター、ヴァイオリン、ボーカル) 来場者263名

(2) 「メトロポリス・クラシックス」コンサートの開催

気軽に楽しくクラシック音楽に触れていただくため、当財団のホームページや駅構内掲出のポスター等で参加者の募集を行い、約4万5千名の応募者の中から厳選のうえ2千名を招待し、サントリーホールにおいて次のとおりコンサートを開催しました。今回は、東日本大震災により被災され、東京に避難されている方々のうち100名を招待したほか、義援金を募り、日本赤十字社を通じて寄付を行いました。

・第6回「メトロポリス・クラシックス」コンサート(平成23年6月26日開催)

「きらめく星に想いをよせて」

出演：東京都交響楽団メンバー他 来場者1,683名

(3) 音楽の贈り物コンサート(出張音楽会)の開催

福祉活動に寄与するため、都内及び近郊の福祉施設、病院等において「音楽の贈りものコンサート(出張音楽会)」を次のとおり開催しました。

・第36回 社会福祉法人 東京栄和会 千代田区立一番町特別養護老人ホーム

(平成23年5月19日開催)

出演：東京都交響楽団メンバー他

来場者 62名

- ・第37回 東京都立文京盲学校 (平成23年6月21日開催)
 出演：東京都交響楽団メンバー他 来場者 87名
- ・第38回 社会福祉法人 聖風会 台東区立特別養護老人ホーム 台東
 (平成23年9月7日開催)
 出演：マミーシンガーズ他 来場者 85名
- ・第39回 順天堂東京江東高齢者医療センター (平成23年10月12日開催)
 出演：東京都交響楽団メンバー他 来場者251名
- ・第40回 社会福祉法人フロンティア 特別養護老人ホーム 山吹の里
 (平成23年11月2日開催)
 出演者：東京都交響楽団メンバー 来場者 64名
- ・第41回 都立久我山青光学園 (平成24年1月24開催)
 出演：マミーシンガーズ他 来場者263名
- ・第42回 社会福祉法人 恩賜財団 慶福育児会 特別養護老人ホーム 麻布慶福苑
 (平成24年2月1日開催)
 出演：東京都交響楽団メンバー他 来場者 87名

(4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集して、その中から優秀作品等を選び、「メトロ文化展」として次のとおり開催しました。

ア 児童絵画の部 (メトロ児童絵画展)

地下鉄に興味を持っていただけるよう、小学生を対象に安全やマナーに関する絵画作品の募集を当財団のホームページや駅構内掲出のポスター等で行った結果、8,566点の応募がありました。3名の審査員により、応募作品の中から優秀作品300点及び奨励賞作品300点を選び、「メトロ文化展 児童絵画の部」として次のとおり展示しました。また、優秀作品のうち特選30点を銀座駅コンコースにおいて、平成23年10月8日から10月19日までの間展示しました。

- ・第一次展示 (「鉄道の日 (平成23年10月14日)」を挟む平成23年10月8日から10月19日まで)
 優秀作品 (特選を除く。) 270点を日本橋駅コンコースに展示
- ・第二次展示 (平成23年10月21日から10月28日まで)
 奨励作品300点を日本橋駅コンコースに展示
- ・第三次展示 (平成23年11月1日から11月13日まで)
 優秀作品 (特選を含む。) 300点を地下鉄博物館に展示

イ 写真の部（メトロ写真教室・写真展）

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などを撮影する喜びを体験していただくため、当財団のホームページや駅構内掲出のポスター等で参加者を募集し、専門家による写真教室及び撮影会を次のとおり2回開催しました。また、撮影作品の中から選考のうえ、日本橋駅コンコースにおいて「メトロ文化展 写真の部」として展示しました。

(7) 第28回 写真教室及び撮影会（平成23年5月29日開催）

場 所：神楽坂とその周辺 応募者数217名 参加者34名

講 師：中谷吉隆氏（日本写真家協会名誉会員）

作品展示：82点を展示（平成23年7月20日から8月1日まで）

(4) 第29回 写真教室及び撮影会（平成23年10月15日開催）

場 所：上野アメ横・不忍池とその周辺 応募者209名 参加者28名

講 師：同 上

作品展示：62点を展示（平成24年1月21日から1月30日まで）

ウ 文学の部（メトロ文学館）

電車内で、文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、「東京で感じるあなたの心」をテーマにした「詩」の募集を、当財団のホームページや駅構内掲出のポスター等で年2回行い、優秀作品を選び、電車内ポスターに掲出するとともに、「写真の部」と同時に日本橋駅コンコースにおいて「メトロ文化展 文学の部」として展示しました。

(7) 作品募集と掲出

第13回 募集（平成23年4月1日から5月31日まで）

応募・掲出作品：471編（345名）の中から6作品を電車内に掲出

第14回 募集（平成23年10月1日から11月30日まで）

応募・掲出作品：391編（302名）の中から6作品を電車内に掲出

(4) 作品展示

第13回作品を平成23年7月20日から8月1日まで、また第14回作品を平成24年1月21日から1月30日まで展示しました。

(5) 沿線地域文化の紹介

地下鉄沿線の地域文化の振興や伝承支援に寄与するため、沿線地域における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等を紹介した小冊子「いきいきTOKYO夢職人」を4月、8月、12月の3回、それぞれ3万部制作し、地下鉄博物館及び各駅に常置したほか、当財団ホームページでも紹介しました。

(6) メトロ歴史教室の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、当財団のホームページや駅構内掲出のポスター等で参加者を募集し、専門家による解説と現地を探訪する歴史教室を2回開催しました。

ア 第18回 歴史教室（平成23年11月12日開催）

場 所：江戸城外濠界限 応募者数237名 参加者40名

講 師：山田 徹氏（大学講師：地理学・地誌学専門）

イ 第19回 歴史教室（平成23年11月26日開催）

場 所：江戸城外濠界限 応募者数201名 参加者34名

講 師：同 上

(7) 「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営

駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に寄与するため設置された「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行いました。展示は、地元豊島区と分担して行いましたが、当財団は平成23年6月に、平成22年度における東京藝術大学美術学部・大学院美術研究科の「卒業・修了作品展」の中で、優秀賞に選ばれた方の作品を展示しました。また、平成23年7月には隅田川での納涼のそぞろ歩きや舟遊び、花火等夏の風物をテーマにした「江戸東京の夏の風景」と題した作品を展示し、平成24年1月には諸大名が将軍へ年頭挨拶のため総登城する風景屏風や凧揚げなど正月らしい光景をイメージした「江戸東京 新春の風景」と題した作品を展示しました。

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図るため、次の事業を実施しました。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスター「こんな人を見た。」を共通フレーズとして制作し、毎月、駅構内及び電車内等に掲出しました。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配付

小学生が学ぶ社会科の参考資料として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」を45万部制作し、都内全域と近県の小学校3,371校及び教育委員会に配布するとともに、地下鉄博物館及び各駅に常置しました。

(3) 鉄道教室の開催

地下鉄の知識を深めていただくため、小学生とその保護者を対象に、当財団のホームページや駅構内掲出のポスター等で参加者を募集し、施設見学、駅員・乗務員との交流及び「日本で最初の地下鉄の開業とその発展」と題したセミナーなどの「鉄道教室」を次のとおり開催しました。

・第11回 鉄道教室（平成23年8月20日開催）

場 所：東西線妙典駅、妙典乗務管区車掌事務室・運転事務室、地下鉄博物館

応募者数263名 参加者80名

（4）啓蒙用グッズ類の配付

交通道德宣伝用啓蒙グッズを制作し、各種イベントの参加者等に配付しました。

Ⅱ 庶務

1 理事会

(1) 第186回（平成23年4月1日開催）

ア 「評議員の就退任に関する件」について審議し、篠原新治が願いにより退任し、後任に巻島 豊が就任されました。

(2) 第187回（平成23年6月9日開催）

ア 「平成22年度（第55期）事業報告に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「平成22年度（第55期）収支決算に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「評議員の選任に関する件」について審議し、實方 健、柴崎英明、鈴木章生、花上嘉成、肥後謙一及び若林 功が再任され、柳川広明が退任、その後任に長谷部昭二が就任されました。

(3) 第188回（平成23年6月9日開催）

ア 「会長の互選に関する件」について審議し、土坂泰敏が会長に再任されました。

イ 「常務理事の互選に関する件」について審議し、竹内良治が常務理事に再任されました。

ウ 「最初の評議員の選任方法に関する件」について審議し、評議員選定委員会において選任する方法とすることで可決されました。

エ 「評議員選定委員会運営規則の制定に関する件」について審議し、評議員選定委員会運営の詳細を定めた評議員選定委員会運営規則を制定することで可決されました。

オ 「評議員選定委員会委員の選任に関する件」について審議し、外部委員に杉山武彦氏、平野直樹氏の両氏、評議員の中から巻島 豊氏、監事の中から鵜澤秀行氏、事務局員として篠原新治総務部長の5名を選任することで可決されました。

(4) 第189回（平成23年7月1日開催）

ア 「評議員の選任に関する件」について審議し、高山輝夫が退任し、後任に小坂彰洋が就任されました。

(5) 第190回（平成23年7月1日開催）

ア 「理事長の互選に関する件」について審議し、梁川 卓が理事長に就任されました。

(6) 第191回（平成23年7月11日開催）

ア 「平成23年度収支予算の変更に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「評議員選定委員会へ推薦する最初の評議員候補者の選出に関する件」について審議し、實方 健、鈴木章生、辻 恵子、花上嘉成、山田 徹、若林 功、平野直樹、小坂彰洋、巻

島 豊、湯座正和の10名を選任することで可決されました。

(7) 第192回(平成23年10月20日開催)

- ア 「公益財団法人移行認定申請書に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。
- イ 「移行後の最初の代表理事及び業務執行理事の選定に関する件」について審議し、移行登記を停止条件として代表理事は土坂泰敏を会長として選定、業務執行理事は梁川 卓、竹内良治、荒井邦雄を選定することで可決されました。
- ウ 「移行後の最初の理事長及び専務理事の選定に関する件」について審議し、移行登記を停止条件として選定された業務執行理事の中から梁川 卓を理事長に、竹内良治を専務理事に選定することで可決されました。
- エ 「定款の変更の案に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。
- オ 「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

(8) 第193回(平成24年3月22日開催)

- ア 「平成24年度(第57期)事業計画に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。
- イ 「平成24年度(第57期)収支予算に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

2 評議員会

(1) 第176回(平成23年6月9日開催)

- ア 「平成22年度(第55期)事業報告に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。
- イ 「平成22年度(第55期)収支決算に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。
- ウ 「理事の選任に関する件」について審議し、土坂泰敏、内田喜恵が理事に再任され、廻 洋子が退任し、その後任に平松英子が理事に就任されました。
- エ 「監事の選任に関する件」について審議し、増井健人が監事に再任されました。

(2) 第177回(平成23年7月1日開催)

- ア 「理事の選任に関する件」について審議し、日暮正巳が退任し、その後任として梁川 卓が就任されました。

(3) 第178回(平成23年7月11日開催)

- ア 「平成23年度収支予算の変更に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「評議員選定委員会へ推薦する最初の評議員候補者の選出に関する件」について審議し、
實方 健、鈴木章生、辻 恵子、花上嘉成、山田 徹、若林 功、平野直樹、小坂彰洋、巻
島 豊、湯座正和の10名を選任することで可決されました。

(4) 第179回（平成23年10月20日開催）

ア 「公益財団法人移行認定申請書に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「移行後の最初の理事及び監事の選任に関する件」について審議し、理事、監事とも移行
登記を停止条件に全員一旦辞任し、移行登記を停止条件に新たに就任手続きをすることとし、
移行後の理事は、土坂泰敏、梁川 卓、竹内良治、荒井邦雄、内田喜恵、白石公子、鈴木嗟
峨子、竹内 誠、中谷吉隆、平松英子を選任し、監事は、鶴澤秀行、増井健人を選任するこ
とが可決されました。

(5) 第180回（平成23年10月20日開催）

ア 「定款の変更の案に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

(6) 第181回（平成24年3月22日開催）

ア 「平成24年度（第57期）事業計画に関する件」について審議し、原案どおり可決され
ました。

イ 「平成24年度（第57期）収支予算に関する件」について審議し、原案どおり可決され
ました。

3 官庁事項

関東運輸局への申請及び届出事項は、次のとおりであります。

- (1) 平成23年 4月11日 役員の変更届について（福島一憲（再任）、中谷吉隆（再任）
- (2) 平成23年 6月17日 最初の評議員の選任に関する理事の定める認可申請について
（平成23年 6月30日 同上認可）
- (3) 平成23年 7月15日 役員の変更届について（土坂泰敏（再任）、竹内良治（再任）
内田喜恵（再任）、梁川 卓（就任）、平松英子（就任）
- (4) 平成23年 7月15日 平成23年度事業状況報告書の提出について
- (5) 平成23年 8月 1日 平成23年度収支予算書の変更届について

内閣府への申請及び届出事項は、次のとおりであります。

- (1) 平成23年10月31日 公益財団法人への移行認定申請について
（平成24年 3月28日 同上認定）

4 登 記

今期における登記事項は、次のとおりであります。

- (1) 平成23年 6月17日 理事の就任登記 (土坂泰敏 (重任)、内田喜恵 (重任)、平松英子)
- (2) 平成23年 7月 1日 理事の就任登記 (竹内良治 (重任))
- (3) 平成23年 7月 8日 理事の就任登記 (梁川 卓)

5 役 員

- (1) 平成23年 6月12日 廻 洋子が退任されました。
- (2) 平成23年 6月13日 土坂泰敏 (再任)、内田喜恵 (再任)、平松英子が理事に、増井健人 (再任) が監事に就任いたしました。
- (3) 平成23年 6月30日 日暮正己が退任いたしました。
- (4) 平成23年 7月 1日 竹内良治 (再任)、梁川 卓が理事に就任いたしました。
- (5) 平成24年 3月31日 福島一憲、細川成海が退任いたしました。

今期末における役員は、次のとおりであります。

会 長	土 坂 泰 敏
理 事 長	梁 川 卓
常務理事	竹 内 良 治
理 事	福 島 一 憲
理 事	荒 井 邦 雄
理 事	内 田 喜 恵
理 事	白 石 公 子
理 事	鈴 木 嵯 峨 子
理 事	竹 内 誠
理 事	中 谷 吉 隆
理 事	細 川 成 海
理 事	平 松 英 子
監 事	鶺 澤 秀 行
監 事	増 井 健 人

6 評議員

- (1) 平成23年 4月 1日 巻島 豊が就任いたしました。
- (2) 平成23年 6月12日 柳川広明が退任いたしました。
- (3) 平成23年 6月13日 實方 健(再任)、柴崎英明(再任)、鈴木章生(再任)、花上嘉成(再任)、肥後謙一(再任)、若林 功(再任)、長谷部昭二が就任いたしました。
- (4) 平成23年 6月28日 高山輝夫(再任)が就任いたしました。
- (5) 平成23年 6月30日 高山輝夫が退任いたしました。
- (6) 平成23年 7月 1日 小坂彰洋が就任いたしました。
- (7) 平成24年 3月31日 柴崎英明、肥後謙一、長谷部昭二が退任いたしました。

今期末における評議員は、次のとおりであります。

小坂彰洋	實方 健	柴崎英明
鈴木章生	辻 恵子	長谷部昭二
花上嘉成	肥後謙一	巻島 豊
山田 徹	湯座正和	若林 功

7 従業員

今期末における従業員数は、34名であります。

Ⅲ 会 計

今期末における貸借対照表、正味財産増減計算書、キャッシュ・フロー計算書、財産目録は、次のとおりであります。

なお、今期末における取引銀行は、次の5行であります。

株式会社 みずほ銀行

株式会社 三菱東京UFJ銀行

株式会社 東京都民銀行

みずほ信託銀行 株式会社

商工組合中央金庫